

一般質問
高橋圭一
(いづれの派にも属しない)

者にお願する手もあるかと思いが、この業者は万葉ホルのレストランの面積を月額6万円、年間70万円という格安の金額で使用しており、公平公正な公募手続きが必要かと思う。入られた経緯は。

答 平成21年6月から、当時、公募により2社の中から選定され現在に至っている。

改正道路交通法施行を受けて(自転車運転の安全とマナーの向上のために)

問 平成27年6月1日から改正道路交通法が施行されたが、この法について聞きたい。

答 改正道路交通法の改正のポイントは、悪質・危険な自転車運転者に対して、信号無視や通行禁止違反などの危険行為で3年以内に2回以上摘発を受けた場合に講習の受講が義務づけられたことである。もしこれを受講しなければ5万円以下の罰金に処される。危険行為自体が違法行為であ

るということは変わるものではない。

問 本市内においての自転車に関係する事故の実態は。

答 榎原警察署で把握している数値によると、平成26年の本市内における交通事故件数は680件で、そのうち自転車事故発生件数は130件と事故全体の約20%であり、そのうち2名の死者が出ている。

問 2年前に「母親驚愕」息子に自転車事故の賠償金9500万円」という判決が下された記事。こういった中、自転車保険というものが注目されてきている。兵庫県では平成27年4月1日に自転車損害賠償保険等の加入を義務付けた「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」が一部を除き施行され、10月に

全面施行を目指すところであった。兵庫県の条例以外にも盗難防止のための条例、ヘルメット着用の条例など自転車に関する条例が制定されている。本市では自転車等の放置防止に関する条例があるが、近隣市町村でこのような自転車に関する条例等はあるか。

答 県内12市の自転車に関する条例について調べたところ、

御所市を除く11市において自転車に関する条例があるが、これは放置自転車に関する条例である。ただし、そのうち6市は、罰則規定はないが「利用者の安全利用責任」を明記している。なお、本市は明記しておらず放置自転車に関する条例のみである。

問 本市内で路側帯などに緑でペイントされている箇所が見受けられるが、市内でペイントされている箇所を幾つか紹介してもらいたい。

答 これはグリーンベルトと呼ばれる道路上のペイントで、歩行者の安全を喚起するためのものである。榎原神宮の東側にある御坊町と久米町地内の一角、土橋町のあたり、中和幹線南側にあるゾーン30のエリアの一角、真菅駅の南北道路、新ノ口駅周辺道路などに設けている。また市内の小学校周辺の通学路にも設置している。

問 飛鳥川の景観は、県の包括協定とともに、景観も含めて自転車道路が存在しているが、いびつな自転車道路となっている。県とも改良に着手してもらいたい。市役所周辺、県立医科大学への国道拡

幅や新設道路で、自転車道路や歩行者道路を設置する取り組み予定はあるのか。

答 慈明寺町13号線とその東側の慈明寺町四糸町線が今回の整備対象になっている。慈明寺町四糸町線は、南側の神武天皇陵の関係で幅員12メートルになり、幅員5メートルの片側歩道となる。慈明寺町13号線は幅員14メートルになり、片側の幅員3.5メートルの両側歩道となる。これはともに自転車歩行道路という位置づけになる。大和八木駅から県立医科大学までの国道24号線の拡幅事業を現在実施しているが、歩行者の安全のために、車道の両側に幅員3.5メートルの歩道自転車歩行者道路を設置する計画である。

問 小学校で榎原警察署と交通対策課の指導員による自転車の安全運転指導等を行っていると思うが、これ以外の取り組みは。

答 都市政策課の交通指導員が、定期的に小学校、幼稚園を巡回し安全教室を実施している。その際には交通対策協議会で作成した冊子を生徒に配り、普段より交通安全に関する授業で活用している。

問 中学校での自転車に対する安全指導は。教育委員会に聞きたい。

答 交通安全は重点課題として取り組んでおり、学級活動や全校集会等を通じて交通安全指導、自転車の乗り方について指導し、自転車通学生には定期的に自転車の安全点検やヘルメットの着用の指導も行っている。ある中学校では全1年生に対し自転車の乗り方などのDVDを利用した指導を行っている。2年前、路側帯の右側通行の禁止という改正があったが、今回の改正に伴い前回と同様、生徒や保護者に今回の改正内容とルール厳守について再度周知するように各校に指示している。

問 高齢者も含め、教育委員会管轄以外の年齢層に対し、何かアプローチしているのか。

答 中学生以上は、警察署が中心となって交通安全指導を行っている。これは交通安全教室で、教育委員会とは別に榎原警察で実施してもらっている。特に高齢者等については安全運転の講習大会を実施し、本市も協力し共同で安全対策に取り組んでいる。

問 佐賀県では高校生にシミ